

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年3月14日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100219
法人名	医療法人 健秀会
事業所名	グループホーム どんぐりの里
所在地	鹿児島県霧島市隼人町真孝113番1 (電話) 0995-44-6934
自己評価作成日	平成23年2月21日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年3月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

クリニックとの連携が密であり、疾病の早期発見に努め入居者に安心した生活を24時間提供できている。施設内が木調であり家庭的雰囲気が保てている。看取りを行っており、ご家族に安心していただいている。みかん狩りや浜下り等の見学、及びドライブに行っている。ご家族と心おきなく話ができる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

【事業所の優れている点】

- ・家族の面会が多く、職員は日頃から家族とのつながりを深め気軽に相談できる関係を作っており、利用者の意思を尊重した生活ができるように支援している。
- ・協力医療機関が隣接し、24時間体制の医療連携ができている。いつでも医師や看護師の対応ができ、歯科診療の往診もあり利用者や家族にとって安心して生活ができる環境である。
- ・看取りについて主治医と連携して家族に説明し、職員と話し合っ終末期をできるだけ支援していけるように取り組んでいる。

【事業所の工夫点】

- ・職員で話し合っ理念の見直しを行い、ミーティング等で理解を深め実践している。
- ・医療機関の栄養士から献立の指導を受けながら、利用者の希望を聞き、旬の食材を使用して皆で楽しい食卓になるよう支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	玄関先に掲示し、共有して実践できるように努めている。ミーティング時等話し合っている。	理念は事業所内に掲示し、リビングやダイニングキッチンには利用者が書いた理念を飾っている。職員で話し合っって理念の見直しを行い、ミーティング等で理解を深め実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所の方とお付き合いしたり、地域とのつながりを持つ為、保育園や地区消防分団、派出所など問い合わせたり、近隣の地区公民会に入会を検討中である。	小中学校の社会勉強等の受け入れや保育園との交流に向けて取り組んでいる。自治会へ加入し、地域で認知症に対する理解を深めるための活動も検討している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	理解を深める為、スーパーに入居者と買い物に行ったりしている。また、将来的に地域に貢献出来るよう検討中である		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、運営推進会議を開き、意見、要望を前向きに検討し、取り組んでいる。	運営推進会議は定期的開催している。家族代表・市担当者・地域包括支援センター職員・民生委員等が参加している。消防署や派出所にも参加要請をしている。ホームの活動内容等を報告し意見や要望を聞きサービスの質向上に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市の主催の研修や催し物に参加したり、運営推進会議に市の職員や町職員、支援センターなど入っていただき協力関係を築いている。</p>	<p>運営推進会議に市担当者や地域包括支援センター職員が参加しており、市主催の研修や催し物には積極的に参加している。市の担当者と電話等で情報交換し普段から交流を深め協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>定期的に、身体拘束について、日々話し合い、拘束のない生活を送っていただけるよう日々ケアに取り組み意識の向上、身体拘束の勉強会を行っている。</p>	<p>日中は玄関の施錠はなく出入りは自由である。身体拘束廃止委員会を中心に毎月勉強会を開催し、身体拘束をしないケアを実践している。入居時に家族にも身体拘束をしないケアについて説明し了解している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>精神的・身体的虐待について勉強会を行い、研修会など参加し虐待について意識付けし防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護の勉強会、研修会などで学ぶ機会をもっている。現在は、支援の必要性のある利用者はいないが必要な場合、活用できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際、または、変更の場合、細心の注意を払って、説明、文書での説明等も行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>担当者会議や行事の折やお見舞いの折、ご家族の意見を積極的に聞くようにしている。玄関にご意見箱をせっち</p>	<p>利用者に日々の生活の中で声かけや表情から意見や要望を聞いている。家族の面会も多く、行事後の話し合いで意見や要望等を聞き、職員全体で改善に努めている。玄関に意見箱を設置している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定期的（臨時的）ミーティングを開いて職員の意見を述べる機会を作っている。</p>	<p>管理者は日頃から職員とコミュニケーションをとるように心がけており、日常的に意見を聞き、個別に相談に応じている。代表者は、職員会議に参加し、職員からの運営に関する意見や提案を受けている。意見を反映するよう努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員には休みの希望を聞いている。交付支給を段階的に行うようにしている。（H22年12月、H23年3月予定）</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修（外部）はなるべく交代で出席するようにしている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>連絡協議会などに出席して情報交換をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人と話、調査し、安心した生活を送っていただくよう、情報を引き出し、サービスの提供、信頼関係の構築に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始時に率直な意見や言葉を出せるようにし、いつでも面会できるような環境を整え、信頼関係を築きできるだけ多くの意見、要望を引き出すよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	十分な時間をかけて、本人、家族と話し、必要な支援を提供、選択肢を持っていただき、満足して頂けるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の視点に立ち、援助し、出来ない事を一緒に行うような意識の下、家庭的な雰囲気の中で、共同生活を送れるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族がいつでも来られて、なんでも遠慮なく、気軽に相談できる関係を作り、安心して頂ける支援を心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族を共に外出されている場合は制限を設けず、又、自宅への外出、買い物、墓参り等行い、本人の思いを大切にしている。	友人や知人の訪問があり、関係を継続できるように支援している。墓参りや自宅への外出等は家族と協力して希望に添えるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活の中で利用者同士が、話ができるよう橋渡しを心掛け、レクリエーション等の関わりの中でコミュニケーションが図れるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	転居先へ情報提供を提出したり、必要であればケアプラン等の情報を提出している。退去されたあとも情報を入手し、相談や助言、支援出来るように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で、希望や思いを引き出し、ケアプランの評価、アセスメントを行い、出来るだけ本人の意思を尊重した生活が送れるよう検討している。	本人の意向を汲み取るため、日々の生活支援の中で職員の「気づき」を大事にしている。面会時に家族の思いを聞き、本人の意思を尊重した生活ができるように情報を共有し支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に聞き取りを行い、自分史を作成し、環境の変化が出来るだけ影響しないようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の支援、レクリエーション、行事、会話等を通し、観察して1人1人の能力を見極めることができるようにしている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	面会時に家族の意見や日常生活の中でスタッフ同士で意見を出し合い本人らしい生活が出来るよう計画作成している。	介護計画は、利用者の毎日の暮らしぶりをもとに、家族の意見を聞き職員と意見交換をしてプランを作成している。モニタリングを毎月実施し現状に即したプランになるように3ヶ月ごとに見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、本人の様子、ケアの内容等を記録している。又、会話された詳しい内容や表現を記録し本人の意思を尊重した介護計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族の思いや希望を尊重し、支援出来るよう柔軟な姿勢でサービスの提供に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアにて敬老会等の行事に参加して下さった時、お礼としてのボランティアポイント制度に加入している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に主治医の希望をお聞きし、希望通りに対応している。連携して安心した生活が送れるように支援している。	希望するかかりつけ医への支援体制を整えている。協力医療機関が隣接しており、緊急時に医師や看護師がすぐに対応ができる。また歯科診療の往診もあり利用者や家族にとって安心できる環境である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	併設のクリニックと医療連携しており、相談・助言して往診や訪問して頂いている。早期発見し適切な受診や看護を受けられるよう支援している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	利用者が入院した場合、環境の変化に不安にならないように、面会したり、家族に定期的に連絡を取り、良好な関係が途絶えないように支援している。入院の際は、情報提供書を提出、連携に努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	看取りについて入居時に説明している。重度化し、主治医と連携し、相談・助言をいただきながら本人・家族へ説明、方針を決定している。看取りを行う場合、連携して行っている。	重度化や看取りについては、指針と同意書を準備しており、入居時に事業所の方針を説明している。主治医と連携し家族へ説明している。職員で話し合い情報の共有を図りながら、終末期はできるだけ支援していけるよう取り組んでいる。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	併設のクリニックと連携を図り、対応している。事故発生時の勉強会や研修会に参加し対応できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	非常災害マニュアルを理解すると共に、防災訓練を年2回実施し災害時に対応できるように努めている。地域への働きかけも努め、検討中である。H23.2月18日スプリンクラー設置完了する。	消防署の指導のもとで防災訓練を年2回実施しており、消火器の使い方の訓練も行っている。消防設備の定期点検も実施しており、スプリンクラーも設置している。非常用の食料・水を備蓄している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常生活の支援を行う上で介護者としてその人に合った、言葉かけに心掛けている。本人の思い立場を尊重した支援を行っている。	勉強会等で研鑽し利用者の思いを尊重した支援を行っている。入職時に管理者が人格の尊重とプライバシーの確保について研修し、日頃から個人を尊重したケアの実践をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の会話や行動から思いをくみ取り、自己決定できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	家庭的な雰囲気の中で、時間にとられることなく自由に生活していただけるように援助している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	行きつけの美容院や出張理容を利用したり、その人らしく、おしゃれできるように援助している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常生活の中で好みの献立を聞いたり、食事の準備や片付けなど出来ることをして頂いている。	献立は利用者の希望を聞き、旬の食材を使用し栄養士が確認している。利用者が食材購入と一緒にいき、片づけを手伝っている。利用者と職員は同じテーブルを囲んで楽しく食事をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の嗜好を調査し、1人1人にあったミキサー食や刻み食など工夫している。必要な時は、栄養補助食品も提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔内の清潔に努め、個々の能力を把握し、本人の能力に応じた支援を行っている。又、各部屋に歯ブラシ・カップ、洗面道具、ヘアブラシを設置している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	オムツ外しに取り組んだり、排泄パターンを把握し、清潔保持支援に取り組んでいる。残存機能を維持できるよう出来るだけ見守り、半介助での排泄を心掛けている。	排泄チェック表を作成し、主治医に報告している。利用者一人ひとりの排泄パターンを把握して、できるだけおむつをしないで済むように排泄の自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	入居者の排便状態を把握し、状態に応じ、水分管理や食べ物、食品管理を行い、自然排便できるように取り組んでいる。手作りヨーグルトなど提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴時間は、ほぼ設定されているが本人の意向を尊重し実施されている。	入浴は2日に1回のペースであるが、利用者の希望を尊重して支援している。温泉も近く、家族で利用することもある。入浴剤などで気持ちよく入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の意思や生活習慣を尊重し自由に生活していただけるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の重要性を把握し、確実に服薬して頂けるように確認実施している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の得意分野を活かし、役割をもっていただき、レクリエーションや手芸など取り入れ、楽しんでいただけるようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ドライブを取り入れたり、家族の協力をいただいて散歩や近所、近隣をドライブしたりしている。	天気の良い日は散歩やドライブを実施しており、家族の訪問時の外出も多い。近隣のスーパーへの食材購入や季節ごとの花見などの行事で外出している。また歩行困難な利用者は車椅子を利用して外出している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>認知症の為、金銭管理ができないため預かったりしているが外出時などスタッフが手伝ったり家族の協力をもらっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>手紙を書いたりされる方もおられ電話については制限はなく、自由に連絡をして頂いている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>整理整頓することや掃除をすることで住環境を整え、換気を定期的に行い心地よく生活できるように支援している。</p>	<p>玄関には、季節を感じる作品がきれいに飾ってある。リビングやダイニングキッチンには利用者の作品や外出時の写真が置いてあり、天井も高く採光も良く利用者が居心地よく過ごせる場所となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>1人1人に合った居場所を確保できるように心掛けるとともに、利用者同士が気軽に行き来したり好きなよう時間を過ごして頂くよう援助している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個室であり自分の家具や小物も持ちこんで自宅にいる時と同じような雰囲気の中で生活できるよう支援している。</p>	<p>居室には、本人の使い慣れたダンスや机等が置いてあり、自宅にいる時と同じような雰囲気でも生活できるよう支援している。家族との思い出での写真や自分の作品等が飾ってあり、安心して暮らせる工夫をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>施設内の床面はバリアフリー、かつフルフラットであり、家具類の配置にも気を配り歩行や動きやすいように工夫している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない